

有効成分ヤマウチアシボソトゲダニを含有する申請農薬の 使用方法及び薬効・薬害試験結果概要

1. トゲダニキング（ヤマウチアシボソトゲダニ剤）

（1）使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヤマウチアシボソトゲダニを 含む農薬の 総使用回数
にら (施設栽培)	ネダニ類	100 頭/m ²	発生前~ 発生初期	—	株元放飼	—

（2）薬効

① にら（施設栽培）

薬効・薬害試験の結果、ネダニ類に対して無処理区と比べて効果が認められた。

表1：トゲダニキングの薬効・薬害試験結果（にら（施設栽培））概要

作物名	実施 場所 実施 年度	対象病虫害		試験条件			結果	
		病虫害 虫名	発生量	使用量 (頭/m ²)	使用 時期	使用 方法	薬効	薬害
にら (施設 栽培)	高知 H27	ロビンネダニ	多 (放虫)	100	生育期	放飼	無処理区と比較して 効果が認められたが、 その程度は低かった。	薬害は認めら れなかった。
にら (施設 栽培)	栃木 H28	ロビンネダニ	少→中	100	生育期	放飼	無処理区と比較して 効果が認められたが、 その程度は低かった。	薬害は認めら れなかった。
にら (施設 栽培)	高知 H28	ロビンネダニ	多 (放虫)	100	生育期	放飼	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認めら れなかった。
にら (施設 栽培)	埼玉 H30	ロビンネダニ	少 (放虫)	100	生育期	放飼	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認めら れなかった。
にら (施設 栽培)	茨城 H30	ロビンネダニ	少 (放虫)	100	生育期	放飼	無処理区と比較して 効果が認められた。	薬害は認めら れなかった。
にら (施設 栽培)	高知 H30	ロビンネダニ	多 (放虫)	100	生育期	放飼	無処理区と比較して 効果が認められなかつ た。	薬害は認めら れなかった。

（3）薬害

① 対象作物への薬害

表1に示した薬効・薬害試験の結果、薬害は認められなかった。申請作物に対する薬害について問題ないことを確認した。